



生活クラブ風車



夢風News

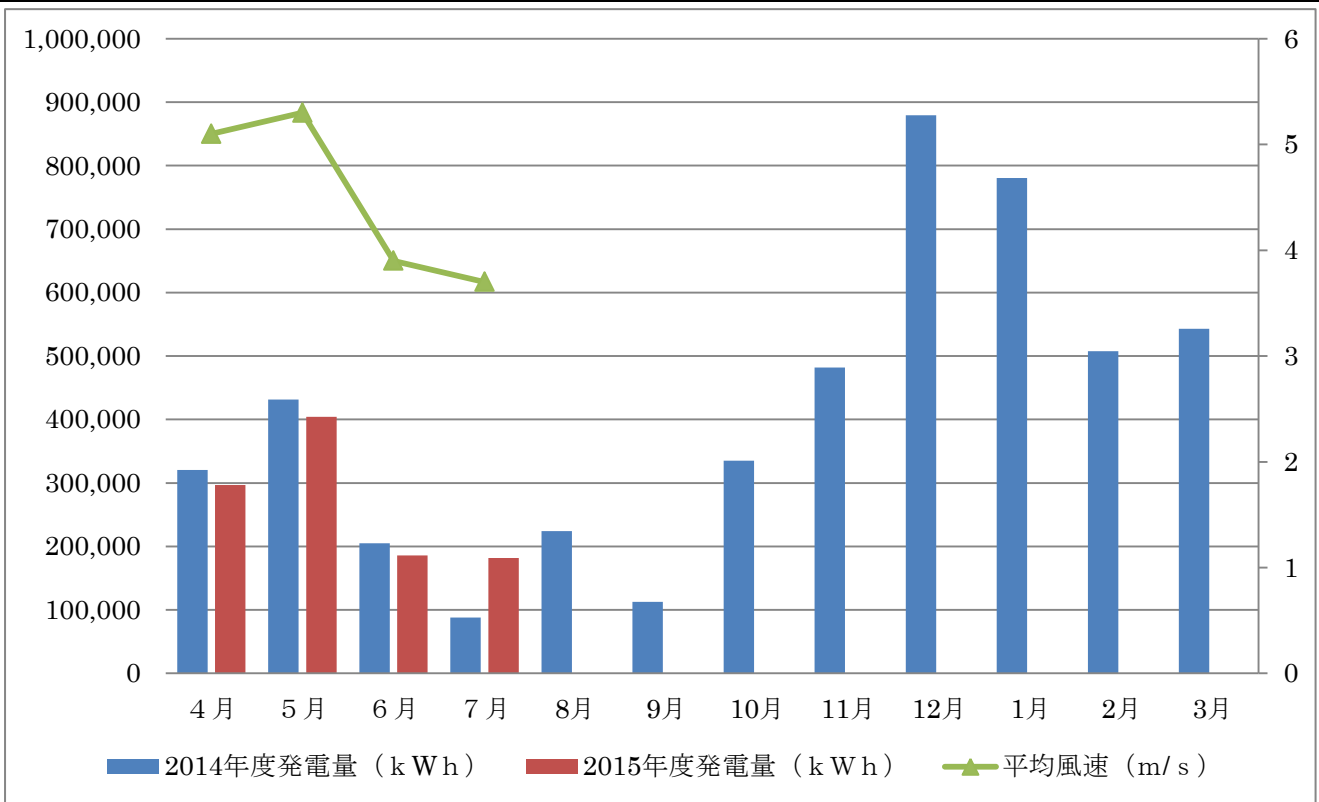
Vol.38

●発行 2015. 8. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2015年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	296,695【92.6%】	5.1	20.7	10月			
5月	404,165【93.7%】	5.3	27.3	11月			
6月	185,870【90.7%】	3.9	13.0	12月			
7月	181,669【206.7%】	3.7	12.3	1月			
8月				2月			
9月				3月			



- 7月も、順調に稼働しました。風況は昨年とほぼ変わりませんが、昨年は解列要請やトラブルによる停止が多かった為、発電量は昨年比で大きくなっています。
- 風車のブレード（羽根）の点検を行いました。

■ グリーンファンド秋田理事会 報告

7月29日、2015年度第2回理事会を行いました。

第1四半期の決算報告を承認しました。売電売り上げは、計画比99.6%の実績となりました。4月より夢風で発電した電気は、これまでの(株)サミットエナジーに加え、一部を(株)生活クラブエナジーに売電しています。生活クラブエナジーに売電した電力は、生活クラブエナジーを通じて、東京電力管内の生活クラブ事業所や福祉施設、生活クラブの牛乳工場である新生酪農(株)、同じく鶏卵生産者である(株)生活クラブたまごなどに供給されています。

この他、稼働率補償対応、にかほ市との連携推進協議会報告及び会費拠出、東日本大震災復興支援まつりへの参加と協賛金について承認しました。

また、にかほ市における新たな風車建設の検討についての意見交換を行い、今後、継続した検討課題とすることとしました。

■ 組合員リーダーツアー開催報告 Part1

生活クラブ風車「夢風」の建設地の秋田県にかほ市との地域間連携をすすめるために、毎年夏に、首都圏4単協の組合員リーダーがにかほ市を訪問して地域の方々と交流するツアーを開催しています。

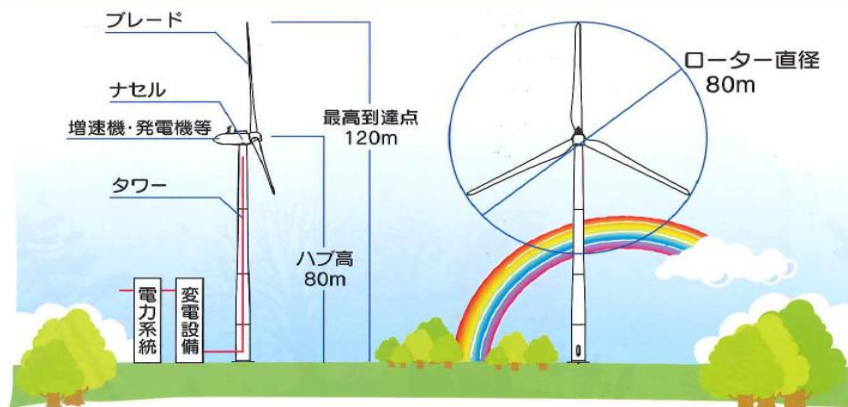
今年は、8月1日(土)、2日(日)に、組合員の方とそのお子さん3名、外部の方を合わせて総勢38名で実施しました。今回の夢風ニュースでは、ツアー1日目の様子をご紹介します。

羽田空港で飛行機の出発が40分遅れてハラハラしましたが、無事にかほ市に到着し、まずは「夢風」の視察です。今年は風に恵まれ、元気に回っている風車を見ることが出来ました。(株)市民風力発電の奥原さんと原田さん、高橋さんに、風車が自動で風向きに応じて向きを変えたり、風の強さに合わせて羽の角度を変える事など風車の仕組みを丁寧に説明を頂きました。



<左から奥原さん、原田さん、高橋さん>

■ 風力発電機のしくみと各部の名称





<千葉の柳田理事>

今年も、奥原さんに同行頂き、千葉単協の柳田理事、東京単協の荒川理事の2人の方が、地上80mのナセルに登る体験をしました。他のメンバーが皆で



下から見守る中、15分ほどかけてナセルに登ります。ハッチから姿が見えると、歓声が沸きました。

今回、初めて風車を真近でみて、高さと迫りに圧倒されたとの感想が多くありました。

続いて、夢風の土地をお借りしている芹田地区の自治会館をお借りして、芹田の方々にもご参加いただいて、学習会を行いました。

初めに、芹田自治会の荒川会長より歓迎のご挨拶を頂きました。

生活クラブ風車建設と地域間連携の取組について、半澤神奈川専務理事を講師に学習を行いました。組合員の皆さんからは、「風車建設の経過が良くわかって良かった。」「これまでのにかほどの交流が写真を多く添えながら楽しそうに説明がありわかりやすかった。」「芹田の方々と一緒に学習できて良かった。」などの感想を頂きました。



芹田自治会館での学習会の様子。

荒川定敏芹田自治会長よりご挨拶を頂きました。



<遠藤豊 芹田営農組合長>

芹田地区で今年から実験栽培に取り組んでいる加工用トマトについて、芹田営農組合の遠藤組合長よりお話を頂き、早速トマトの収穫体験へ畑に向かいました。

さて、8月1日から収穫を開始としていましたが、みんなで収穫するほど実っているのかと心配もありました。しかし、畑に着くと赤く実ったトマトがたくさん！！夢中で収穫作業を楽しみました。畑で頂く、トマトは、甘く歯ごたえがあつて、美味しかったです。

この日に収穫したトマトは約100Kg。この後、トマトは、JA庄内みどり遊佐の集荷場に運び、山形県寒河江の鈴木食品(株)でトマトピューレに加工して、(株)コーミで生活クラブのトマトケチャップになります。

この日の作業のために集まっていたいただいた芹田の皆さん、とても暑い中、ありがとうございました。



加工用トマトの収穫をする組合員と芹田の方々



<左から渡辺監督、佐藤カメラマン>

今回のツアーには、(一社)全国ご当地エネルギー協会を通じて、生活クラブも協賛した映画「よみがえりのレシピ」の渡辺智史監督より、現在すすめているドキュメンタリー映画「コミュニティ・パワーシフト」の製作のために、生活クラブの取り組みを取材したいとの依頼を受け、渡辺監督と佐藤カメラマンが取材・同行されました。

渡辺監督は、よみがえりのレシピの上映活動を通じ、食と農の現場の人々と持続可能な地域社会について話し合うようになり、震災以降は食べ物だけではなくエネルギーを地域でどう循環していくのかという事に強い関心を抱いてきたと言います。そして、一つ一つは小さくてもまとまれば原発をもしのぐ力を発揮する自然エネルギー。持続可能で次世代に安心して引き継ぐことので

きる自然エネルギーへのシフトを全国に紹介、発信したいとの事です。映画の完成は、全国の他地域の取材もすすめ、2016年秋以降になる予定との事です。楽しみです。

